



2021年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月5日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL https://www.kawachem.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田秀行
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 2021年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第1四半期の連結業績(2020年12月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	1,811	5.2	103	96.5	104	89.9	78	94.2
2020年11月期第1四半期	1,721	△3.2	52	80.1	55	64.9	40	83.1

(注) 包括利益 2021年11月期第1四半期 91百万円(148.9%) 2020年11月期第1四半期 36百万円(89.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第1四半期	64.68	—
2020年11月期第1四半期	33.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第1四半期	7,505	2,027	27.0
2020年11月期	7,189	1,972	27.4

(参考) 自己資本 2021年11月期第1四半期 2,027百万円 2020年11月期 1,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年11月期	—	—	—	—	—
2021年11月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年12月1日~2021年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	3.8	150	79.4	150	79.3	110	74.4	90.33
通期	7,100	7.1	250	209.1	250	201.5	180	203.3	147.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年11月期 1 Q	1,220,000株	2020年11月期	1,220,000株
② 期末自己株式数	2021年11月期 1 Q	2,217株	2020年11月期	2,217株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年11月期 1 Q	1,217,783株	2020年11月期 1 Q	1,217,783株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米中の貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の影響により減速していた世界経済も各国経済対策の効果や中国の早期需要回復を受け、個人消費や輸出の持ち直しの動きがみられました。

しかしながら、欧州、米国での新型コロナウイルス感染者数の高止まりもあり依然として厳しい経済状況にあります。

国内経済は、経済対策の効果や中国における需要回復を受け、個人消費をもち直したものの2021年に入り新型コロナウイルスが再拡大し緊急事態宣言の再発出による経済活動への影響により、厳しい市場状況となりました。

当社グループに関係の深い自動車産業においては、早期に新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えた中国では、景気刺激対策の効果により生産台数が前年同期を上回る状態が続いています。日本国内においても生産台数が回復傾向にありましたが、2021年に入り世界的な半導体不足や部品供給工場の地震被災により、一部自動車生産工場の操業が停止し生産台数への影響が発生いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、市場における需要変動への安定供給を積極的に進めるとともに、受託合成品並びに品質・技術に優位性を持つ製品の製造販売に注力、成長分野での事業拡大に努めました。

一方、生産においては、国内外市場からの原料の安定調達に注力し、生産と在庫の最適化によるコストダウンと経営資源の効率化を、販売・開発・製造のそれぞれの部門で進めました。

これらの結果、樹脂薬品並びにその他薬品は販売が前年同期を下回りましたが、ゴム薬品、中間体においてはこれを上回りました。当第1四半期連結累計期間の売上高は18億11百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は1億3百万円（同96.5%増）、経常利益は1億4百万円（同89.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は78百万円（同94.2%増）となりました。

セグメント業績の業況は次のとおりであります。

①化学工業薬品事業

売上高は18億2百万円（同5.2%増）、セグメント利益（営業利益）は96百万円（同112.47%増）となりました。

②不動産賃貸事業

売上高は9百万円（同0.6%増）、セグメント利益（営業利益）は7百万円（同0.8%増）となりました。

（化学工業薬品事業の部門別の概況）

<ゴム薬品>

国内向けの工業用品向け薬品は、国内自動車生産及び販売、中国を中心とする海外市況の回復、更には顧客需要動向への積極対応を行った結果、国内全体では前年同期を上回る売上となりました。タイヤ向け薬品は、輸出向けタイヤ生産、国内自動車生産の回復により顧客の稼働が回復しましたが、海外品との競合が激しくなり前年同期の売上を下回りました。合成ゴム向け薬品は、国内自動車生産の回復により全体では売上が前年同期を上回りました。

海外向けは、新型コロナウイルス感染症の影響から早期に経済回復した中国をはじめ、東南アジア諸国での自動車生産の回復により売上が前年同期を上回りました。

この結果、国内・輸出合せてのゴム薬品部門合計の売上高は11億3百万（前年同期比9.9%増）となりました。

<樹脂薬品>

国内向けは、主要顧客であるアクリル酸・アクリル酸エステルが生産が低調で推移しました。このような中、当社主要製品において顧客要望への対応の結果、売上は前年同期を上回ったものの海外向けは、顧客の需要減により受注が減少し、売上は前年同期を下回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上高は1億68百万円（同1.2%減）となりました。

<中間体>

界面活性剤中間体は、主要品目の販売が回復したことにより売上は前年同期を上回りました。染顔料中間体は、主要品目の販売が低調で、売上は前年同期を下回りました。農薬中間体は、主要品目の当期における顧客の需要が低迷し、売上は前年同期を下回りました。医薬中間体は、国内、海外向け共に顧客要望への対応の結果、販売を増やし売上は前年同期を上回りました。

この結果、中間体部門合計の売上高は2億82百万円（同32.6%増）となりました。

<その他>

環境用薬剤は、需要が堅調に推移したことから、売上は前年同期を上回りました。潤滑油向けは、需要低迷により顧客での生産が低調なことから売上が前年同期を下回りました。新規用途向けは、当第1四半期における各製品の顧客での需要が低調に推移し売上が前年同期を下回りました。

この結果、この部門合計の売上高は2億47百万円（同23.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては75億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億15百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億88百万円、たな卸資産が95百万円増加したことに対し、現金及び預金が21百万円、有形固定資産が53百万円減少したことによりです。

負債につきましては54億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億61百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億16百万円、短期借入金が1億円増加したことに対し、未払金が33百万円、流動負債その他の未払費用が1億19百万円減少したことによりです。

純資産につきましては20億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が42百万円、その他有価証券評価差額金が8百万円増加したことによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期の連結業績予想につきましては、2021年1月14日に「2020年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の数値を変更しております。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	882,857	861,181
受取手形及び売掛金	2,237,611	2,526,101
商品及び製品	797,063	846,474
仕掛品	347,841	363,930
原材料及び貯蔵品	264,985	294,760
その他	40,973	38,259
貸倒引当金	△3,803	△4,294
流動資産合計	4,567,529	4,926,414
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,195,158	1,145,791
その他(純額)	1,173,327	1,169,091
有形固定資産合計	2,368,486	2,314,882
無形固定資産		
その他	16,130	14,731
無形固定資産合計	16,130	14,731
投資その他の資産		
その他	239,441	250,202
貸倒引当金	△2,324	△1,150
投資その他の資産合計	237,117	249,052
固定資産合計	2,621,734	2,578,667
資産合計	7,189,263	7,505,081
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883,844	1,199,993
短期借入金	1,960,000	2,060,000
1年内返済予定の長期借入金	73,316	74,150
未払金	261,409	227,430
未払法人税等	9,473	35,476
未払消費税等	97,695	38,439
賞与引当金	—	41,598
役員賞与引当金	7,500	3,000
その他	185,339	57,710
流動負債合計	3,478,578	3,737,799
固定負債		
長期借入金	1,153,335	1,135,006
役員退職慰労引当金	108,467	114,306
退職給付に係る負債	341,648	358,453
その他	134,753	132,506
固定負債合計	1,738,204	1,740,272
負債合計	5,216,782	5,478,071

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,283,724	1,325,952
自己株式	△7,749	△7,749
株主資本合計	1,944,413	1,986,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,793	30,941
為替換算調整勘定	5,273	9,427
その他の包括利益累計額合計	28,067	40,368
純資産合計	1,972,480	2,027,009
負債純資産合計	7,189,263	7,505,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年12月1日 至2021年2月28日)
売上高	1,721,970	1,811,689
売上原価	1,393,491	1,427,168
売上総利益	328,478	384,521
販売費及び一般管理費	275,651	280,695
営業利益	52,827	103,825
営業外収益		
受取利息	132	96
受取配当金	1,126	734
貸倒引当金戻入額	115	—
受取保険金	3,559	648
為替差益	—	2,073
その他	2,176	1,626
営業外収益合計	7,109	5,179
営業外費用		
支払利息	4,132	4,327
為替差損	559	—
その他	144	21
営業外費用合計	4,836	4,349
経常利益	55,099	104,656
税金等調整前四半期純利益	55,099	104,656
法人税、住民税及び事業税	16,667	31,645
法人税等調整額	△2,126	△5,749
法人税等合計	14,540	25,895
四半期純利益	40,559	78,761
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,559	78,761

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	40,559	78,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,209	8,147
為替換算調整勘定	228	4,153
その他の包括利益合計	△3,980	12,301
四半期包括利益	36,578	91,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,578	91,062
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,712,532	9,437	1,721,970	—	1,721,970
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,712,532	9,437	1,721,970	—	1,721,970
セグメント利益	45,291	7,535	52,827	—	52,827

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,802,191	9,497	1,811,689	—	1,811,689
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,802,191	9,497	1,811,689	—	1,811,689
セグメント利益	96,229	7,595	103,825	—	103,825

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。